



日本の預金は超低金利です。それに対し外国の預金は日本より金利が高いと聞きました。そこで、少しでも利息が得られる外貨預金をしようと思います。どのくらい金利が違うのでしょうか？



日本の預金金利は低いですね。

一例をあげてみましょう。

日本の銀行の「一年定期預金(100万円～300万円未満)」の金利は、0.2%～0.3%ぐらいです。

それに対し、例えば、オーストラリア ドルの「一年定期預金(10万円以上)」は1.0～1.3%ぐらいです。

4～5倍高いです(平成24年11月の各銀行の金利を参考にしました)。



これだけ預金金利が高いと外貨預金は魅力があります。

外貨預金の仕組みを教えてください。



外貨預金は、日本の「円」を「外貨」に交換します。

例えばオーストラリア ドル預金をするとします。

「円」を「オーストラリア ドル」に交換します。

この交換する際に手数料がかかります。

手数料は「円」を「外貨」に交換するときと、「外貨」を「円」に交換するときの両方にかかります。





Q

「円」を「外貨」に交換するときの手数料は？

例えば、オーストラリア ドル預金したとします。

為替レートを1オーストラリア ドル=80円とします。

10,000オーストラリア ドル預金すると、

10,000オーストラリア ドル×80円=800,000円が必要です。

「円」を「オーストラリア ドル」に交換するとき手数料がかかります。

例えば、1オーストラリア ドルのあたり0.5円かかるとします。

10,000オーストラリア ドル×0.5円=5,000円の手数料がかかります。

10,000オーストラリア ドル預金するには805,000円が必要になります。



A



Q

逆に「外貨」を「円」に交換するときの手数料は？

例えば、10,000オーストラリア ドル預金していたとします。

「オーストラリア ドル」を「円」に交換するとき手数料がかかります。

例えば、1オーストラリア ドルあたり0.5円かかるとします。

10,000オーストラリア ドル×0.5円=5,000円の手数料がかかります。

為替レートを1オーストラリア ドル=80円とします。

80円×10,000オーストラリア ドル=800,000円－手数料5,000円。

「円」に交換後の受取額は795,000円になります。



A



「円」を「外貨」に交換するとき、逆に「外貨」を「円」に交換するとき
に手数料がかかるとすると、引かれた手数料分の利息をかせがないと元本
割れしてしまいますね。



そうです。

上記の場合には交換時に前後1円の差額がでてくるわけです。

それ以外に交換時の為替レート額によって元本割れすることもあります。

逆に為替差益で増えることもあります。

以下の事例で検証してみましょう。

①円安になった場合

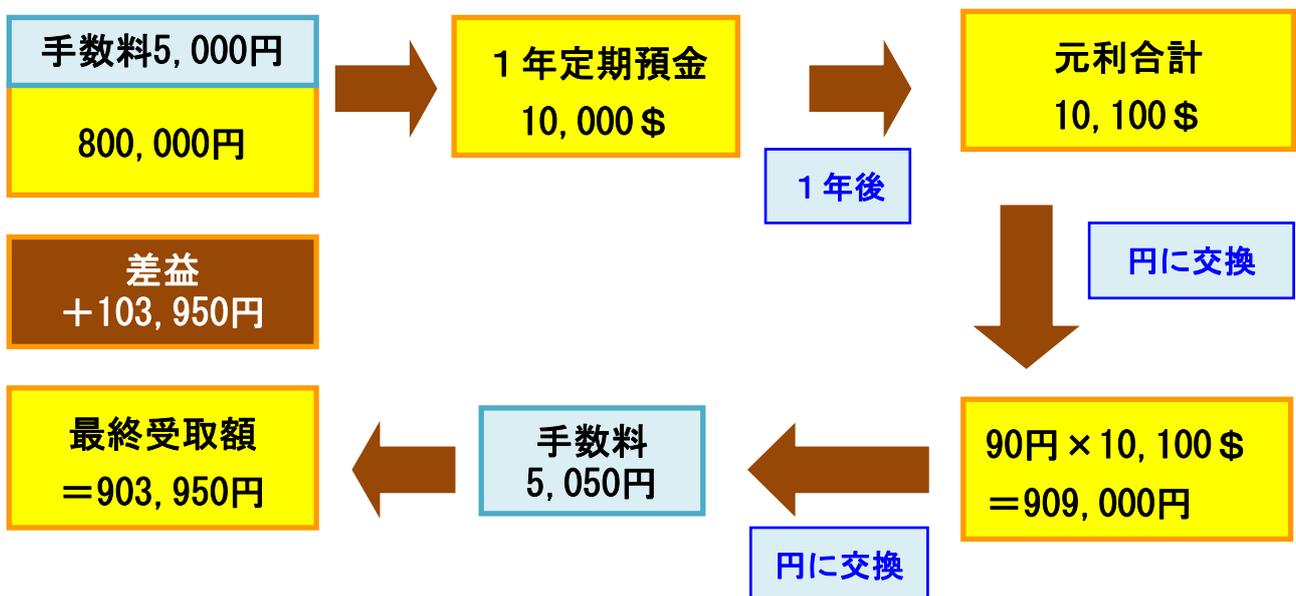
条件

「円」から「外貨」に交換するとき1オーストラリア ドル=80円

「外貨」から「円」に交換するとき1オーストラリア ドル=90円

10,000オーストラリア ドルの1年定期預金をした。

1定期預金の金利=1.0%。交換手数料0.5円。





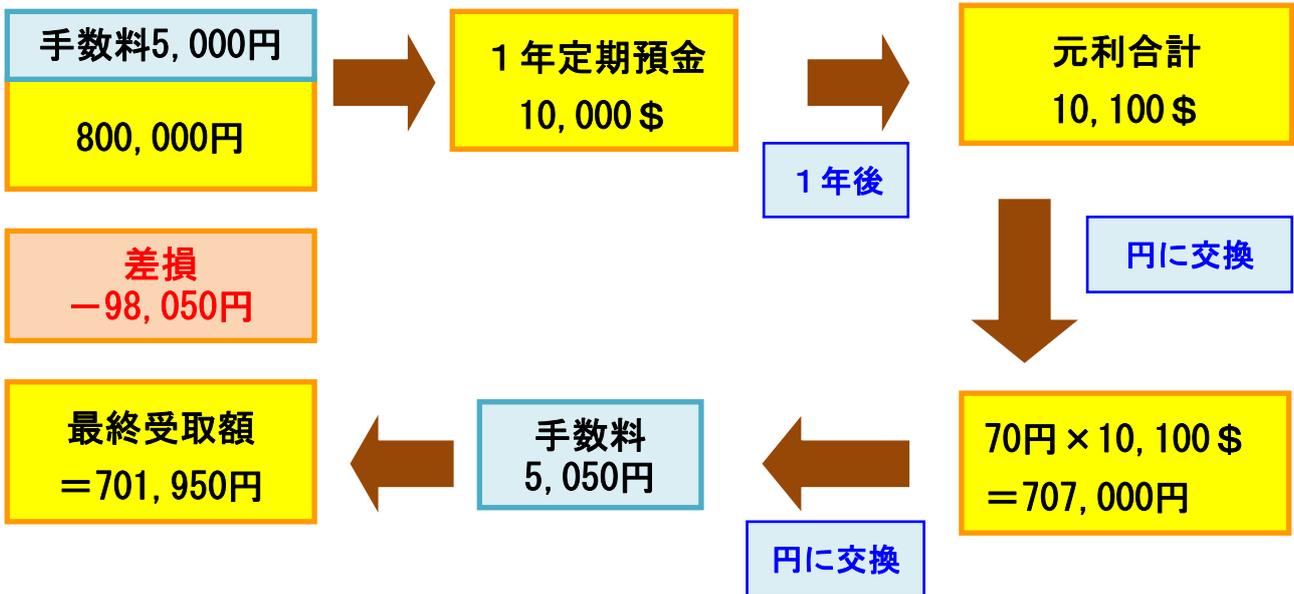
逆に円高になった場合はどうなりますか?



条件

①円高になった場合

「円」から「外貨」に交換するとき1オーストラリア ドル=80円
 「外貨」から「円」に交換するとき1オーストラリア ドル=70円
 10,000オーストラリア ドルの1年定期預金をした。
 1定期預金の金利=1.0%。交換手数料0.5円。



外貨預金の特徴は

- ①預金保険の対象商品ではありません。銀行がつぶれたら元本、利息は保護されません。
- ②円から外貨、外貨から円に交換する際に手数料がかかります。
- ③円高、円安による為替リスクがあります(上記事例)。

1ドル=100円で外貨預金をした。円にもどすときに1ドル=90円の円高になっていると10円損します。逆に1ドル=100円で外貨預金し、円にもどすときに1ドル=110円の円安になっていると10円得します。これが為替リスクです。